

令和6年度 第25回東京都高等学校総合体育大会女子サッカー競技

第13回関東高等学校総合体育大会女子サッカー競技大会東京予選 要項

目的 東京都内高等学校女子サッカーの健全なる普及と振興・発展を目的とする。

1. 大会名称 「令和6年度 第25回東京都高等学校総合体育大会女子サッカー競技」

2. 主催 東京都高等学校体育連盟・(公財)東京都サッカー協会

3. 主管 東京都高等学校体育連盟サッカー専門部女子部

4. 期日 4月20日～5月12日(予定)

5. 会場 駒沢オリンピック公園、清瀬内山運動公園、他

6. 参加資格

(1) 令和6年度に(公財)日本サッカー協会に加盟登録した単独の都内高等学校チームであること。

★参加選手は令和6年4月1日現在、参加する高等学校の生徒であること

(2) (1)に加え、他チームに二重登録されていないこと。

(3) 各チームは必ず教職員(顧問)の引率すること。教職員でないスタッフのみの引率は認めない。

但し、学校長の委嘱状があればよい。(公印が押印されていること)

(4) 各チームは必ず審判(有資格者)を帯同すること。

(5) 2006年(平成17年4月2日)～2009年(平成21年4月1日)に生まれた選手であること。

<15歳～19歳> なお、同一学年で2年連続出場することはできない。

7. 競技方法

(1) トーナメント方式による試合を行う。

(2) 令和5年度第23回東京都高等学校女子サッカー新人戦大会の結果を踏まえ、シード校を決定する。

(3) 試合時間 1回戦～3回戦 : 70分(インターバル10分) 延長無し P K

準々決勝以降及び3位決定戦 : 70分(インターバル10分) 延長20分 P K

8. 競技規則

(1) 日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/2024」による。

(2) **各試合のメンバー表に記載できる選手数は最大で26名(先発選手11名+交代要員15名)**とし、交代要員から5人まで主審の許可を得て交代することができる。なお、再交代は禁止とする。

(3) 交代の回数における制限は設けない。

(4) 本大会において退場を命じられた選手(または警告を2回受けたもの)は、次の1試合に出場できず、その後の処置については、大会の規律委員会で決定する。

【規律委員会 床爪克至 坂田洋介 中野進治 梅原聖和 後藤和也 原山和也 安川智 大森健二】

(5) 競技中に落雷の予兆があった場合、またその他の理由により、審判員又は大会本部の判断により試合を中止する場合がある。なお、試合の再開方法・結果などについては、16～18を参考する。当てはまらない事由については、大会規定に関わらず、大会本部にて決定する。

- (6) メンバー用紙を提出後から試合開始前まで(ウォーミングアップ中など)に、先発選手に怪我や体調不良が起これる選手を変更したい場合、交代枠を減らさずに先発選手を変更することができる。ただし、変更した選手は交代要員としてベンチに入ることはできない。
- (7) 試合球は、公共グラウンドはモルテン F5N4900、学校グラウンドはミカサ FT551B-PV (芝) 及び FT551B-GR-SBY (土) を使用する。
- (8) 合同チームについても、出場を可とする。別紙【合同チームガイドライン】を参照。

## 9. 参加申込方法

- (1) 大会事務局宛に **3月30日(土)** までに、グーグルフォームに回答する形で行うこと。締め切り後の参加受付は行わない。
- (2) 『参加申込書』を4月5日(金)に開催される総会及び組合せ抽選会(予定)時に提出する。

## 10. 大会参加費

振込期限 4月5日(金)

振込口座 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 普通 口座番号 3802202

東京都高体連サッカー専門部女子 総務 小尾敏明

参加費…10,000円

※ 個人口座から振込される場合は学校名をはじめに加えること。振り込み手数料は各チームが負担。

※ 合同チームで参加する学校の金額については、1チームにつき1万円とする。

(各校の振込額については、合同チーム内で決定するものとする)

## 11. 組み合わせ抽選会、代表者会議

日時、場所：4月5日(金) 18:00～ 東京都立王子総合高等学校(予定)

※抽選会時、生徒の参加も可とする。ただし1校につき1名まで。(合同チームは1チームにつき1名まで)

## 12. 表彰

優勝チーム、2、3位チームには表彰状を授与する。

優勝チームには第10回関東高等学校総合体育大会女子サッカー競技の出場権を与える。

上位4チームには第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会東京予選にシード権を与える。

## 13. ユニフォーム

◆ ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを携行する。ゴールキーパーはフィールドプレイヤーと異なる色を着用すること。また、いずれも審判と同色(黒)または類似色(黒・紺系)の上衣を着用することはできない。

※アンダーシャツは各袖の主たる色と同じ色で1色または、シャツの各袖と全く同じ色の柄にする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、又はショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

- ◆ ユニフォーム規定に関する緩和措置は導入しない。
- ◆ 番号は1番から26番までとする。
- ◆ 縞のユニフォームは30cm四方の台地に背番号を10cm四方の台地に胸番号をつけること。
- ◆ 胸番号はあることが望ましい。(関東大会以上は必須)

#### 14. その他

- (1) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。
- (2) 下記の場合は不戦敗となる。
  - ◆ キックオフ時刻を10分過ぎてもグラウンドに選手がそろわない時(7名未満)
  - ◆ 引率者がいない時
- (3) 負傷および事故の責任は、該当チームが負うものとする。
- (4) ベンチ入りできるのはメンバー表に登録されたスタッフ最大5名と控え選手最大15名とする。
- (5) 会場入りする合同チームの引率者の人数は問わないが、ベンチ入りできるのは(4)のとおりとする。
- (6) 控え選手は、ユニフォーム姿の上にビブスを着用しベンチ入りすること。
- (7) 審判について
  - ・ 審判は各校の帯同審判員が担当する。(準決勝から派遣)
  - ・ 各校必ず審判員(有資格者)を2名以上帯同すること。(うち1名は18才以上、高校生でない者とする)
  - ・ 審判は審判服(上衣・パンツ・ストッキング・色調は黒)を着用すること。
  - ・ 全試合第4審判を割り当てる。(第4審判も審判服を着用すること)
- (8) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。
- (9) 試合開始前について
  - ① 試合開始30分前までに、メンバー用紙3部と2024年度選手証(KICKOFFから出力できる写真付きの一覧を印刷したものを)を本部に提出すること。写真のないものは無効とする。  
 ※メンバー用紙の選手の順序と選手証の順序は同じにしておくこと。また、メンバー用紙に記載がある選手のみ提出すること。  
 ※選手証を印刷したものがない場合、電子選手証で確認がとれれば出場を可とするが、これは非常時の手段であり、原則として印刷したものを用意すること。
  - ② 試合開始5分前を目安に、メンバーチェックを受けること。(業者による写真撮影などが入る場合はこの限りではない)
  - ③ 準決勝、決勝、3位決定戦については試合開始80分前にMCMを行う。(メンバー用紙の提出もMCM時に行う)  
 ※試合開始10分前までに選手証の提示ができない選手は出場できない。  
 ※追加選手の協会承認が間に合わない場合は、「最新の選手登録・申請状況」・「振込用紙のコピー」を印刷し、日付がわかる状態で本部に提出すること。

## 15. 大会事務局

東京都立東大和高等学校 梅原聖和 [Masakazu\\_Umehara@education.metro.tokyo.jp](mailto:Masakazu_Umehara@education.metro.tokyo.jp)

東京都立橘高等学校 原山和也 [Kazuya\\_Harayama@education.metro.tokyo.jp](mailto:Kazuya_Harayama@education.metro.tokyo.jp)

品川エトワール女子高等学校 大森健二 [k-oomori@etoile.ed.jp](mailto:k-oomori@etoile.ed.jp)

## 16. 荒天・落雷についての対応

- ① 会場責任者および主審の判断で試合開始時刻の遅延、試合中の中断を決定する。
- ② 合開始時刻から60分（目安）、又は中断から30分（目安）以上経過しても、回復が見込めないか安全が確認できない場合は、試合を中止する。

中止後の流れ…試合時間のおおよそ3分の2以上(後半10分～15分)が過ぎていればその試合は成立させ、残りの試合時間の分の延期はしない。ただし、ベスト8以上（予選トーナメントの決勝以降）については、残りの試合時間の分も最後まで実施をする。

中断後に延期、再試合となった場合は残り試合時間を行う。記録(選手・スコア・警告・退場等)は、中断時点から引き続きとする。尚、選手の交代は中断時のメンバー表に基づき、交代を認める。(中断時・再試合・再開後合わせて交代人数5人まで)

- ③ 中断後に状況が回復し残り試合が可能と判断した場合、原則は中断した試合を優先的に進める。状況により会場責任者、審判団、該当チームで優先する試合を決定する。
- ④ 引き分け時の勝敗を決めるためのペナルティキック途中の中止は抽選（コイントス）を行い、次回進出校を決定する。
- ⑤ 主審は、中断時の状況を「試合中断・延期に関わる報告書」に記録する。
- ⑥ 中止となった試合以降の当該チーム、審判団等へ順延の連絡をする。
- ⑦ 委員長および事務局へ報告する。

## 17. 熱中症対策について

- ① 原則、JFAの熱中症ガイドラインに沿って試合を行う。
- ② WBGT=31℃を目安とし、会場責任者、審判団、該当チームで試合の実施、中止、遅延の判断をする。
- ③ ガイドラインに沿って、飲水タイム、クーリングブレイクを設定する。(クーリングブレイクの時間を延ばす等の措置も可能とする)

## 18. 会場責任者の分担について

会場校は教職員及びチームスタッフを2名以上配置することが望ましい。

(1名のみで試合に該当した場合、会場責任業務等に対応できなくなるため)